

平成 25 年 4 月 27 日

プロジェクト報告書

団体名 青梅精神障害者ピアサポートグループ「ぶ〜け」

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願いします)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

精神障害者だけによる当事者ビジネス

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

精神障害者の就労は大変難しく、精神障害者はまともに働けないという根強い偏見の中、精神障害者かくじに適した仕事アレンジ・マネージメントすることにより各自に自立を目指す。精神障害者だけで企画。運営・業務の実施をする本活動を通じ、相互のリカバリーとエンパワメントを果たしていく。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

- 1、「ぶ〜け」当事者ビジネス運営委員会に手本プロジェクトを企画・運営
- 2、活動の拠点としての事務所を設置
- 3、ハウスクリーニング・片付けサービス事業の実施に向けて、数多くの実習を実施
- 4、観光通訳事業の実施に向けて、企画を煮詰め準備する。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

事務所は、篤志家のご厚意により、JR 東青梅駅前のマンションの 1 室を大変良い条件にてお貸していただいた、メンバーが集まりやすい立地条件にあるこの事務所で、私たちは頻繁に集まり、事業実施に向けて検討を重ねてきた。ハウスクリーニング片付けサービスでは、メンバー各自とチームとしての課題が多く見え、そのつど反省会を事務所で行い、意識の向上とスキルアップに向けて、メンバーの気持ちを高めてきた。観光通訳事業については、メンバーが資格を取得するとともに、具体的な内容について検討を重ね、訪れた外国人の方に、我々としてどのようなおもてなしができるか様々なアイデアが出されてきた。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

できたらいいという夢の段階であった、「当事者ビジネス」が、事務所ができたことにより、現実のものとなりつつあり、メンバーはとても頑張っており、私たちを見る周りの目も、変わり、様々な注目を受けることになってきている。「当事者ビジネス」といっても仕事の品質が高くなければ、勝負できないことは、メンバーがよくわかっている。障害や経験不足というハンデの中、個々の課題はそれぞれあるが、経済的自立を目指すことにより、お互いが人間の成長ができるこの事業を、様々な困難を乗り越えながらも、継続、発展させていきたい。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし